

曹洞宗

群馬県宗務所 第13教区報

第13号

令和7年1月1日発行

第13教区長
海源寺住職 岩崎 義幸 挨拶

『NEXT ONE』・『百尺竿頭に一步を進む』



能登被災地支援活動の折り
(写真左下 第13教区長 岩崎義幸 老師)

新年あけましておめでとうございます。新春を迎え、謹んで貴家皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。昨年は、コロナウイルス感染症も落ち着きを見せ、当教区でも様々な行事が執り行われました。まだ終息とは言えませんが、従来通りの生活に戻りつつあり、うれしく感じております。

しかし、世界に目を向けるとロシアによるウクライナ侵攻や紛争が起こり、多くの犠牲者が出て、皆様も心を痛めているのではないのでしょうか。

また、日本国内でも様々な自然災害が発生し避難生活を余儀なくされている方々がいます。当教区では、能登半島地震被災

地支援活動に力を注いでいます。記事にも掲載されておりますが、皆さまにもご理解ご協力いただければ幸いです。様々な災害で亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げるとともに、被災された方々に心からお見舞い申し上げ、被災地の早期復興と一日も早く平穏な日常生活が戻る事を祈っています。

さて、サイレント映画時代に名声を博したコメディアン【喜劇王：チャップリン】をご存じの方も多いと思います。彼の晩年のインタビューでこんな記事を見ました。

記者：「あなたの最高傑作は何ですか？」 返答：「NEXT ONE (次の作品さ)」と答えたという。彼は、晩年になっても常に向上心を持って歩みを進めていたという逸話です。彼の言葉ではないとも言われていますが、とても素敵な考え方だと思いました。

禅語にもこんな言葉があります。『百尺竿頭に一步を進む』これは、『目標を達成しても、それに満足せず、さらに一步踏みだし、努力する事』の大切さを説いた言葉です。

皆さんも『更に一步を進める事』を心掛けてはいかがですか。仏教に限らず、学ぶことに終わりは無いと思います。『新聞やテレビで知らない言葉を見かけた』など、常に新しい事に目を向けて過ごすことも、日々の学びだと思います。皆様の一步一歩がより充実する事を心よりご祈念申し上げます。

13教区 31ヶ寺院

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 富岡 | 菅原 | 南井 | 上下尾 | 下田 | 上生 | 宇田 | 宮崎 | 宮崎 | 一ノ宮 | 一下宮 | 富高 | 岡本 | 下田町 | 本宿 | 中小坂 | 南牧村 | 檜沢 | 甘楽町 | 轟引 | 天幡 | 小幡 | 善慶寺 | 国峰 | 国峰 | 白倉 | 小川 | 秋川 | 秋畑 | 小天幡 | 秋引 | 高崎市 | 上奥平 |
| 陽雲寺 | 最興寺 | 長学寺 | 生寿寺 | 永隣寺 | 金乗寺 | 神守寺 | 桃林寺 | 永乗寺 | 三會寺 | 連珠寺 | 光厳寺 | 海源寺 | 福寿院 | 長楽寺 | 延命寺 | 永昌寺 | 宝積寺 | 向陽寺 | 宝泉寺 | 福巖寺 | 興巖寺 | 長善寺 | 松泉寺 | 松林寺 | 宝徳寺 | 天光寺 | 西慶寺 | 松慶寺 | 寿福寺 | 泉龍寺 | 宗伝寺 | |

能登半島地震支援活動①

「能登七福神霊場巡り」は、石川県の七尾市、羽咋市、志賀町にある7つの寺院を巡り、御朱印を集める企画です。

しかし、昨年の地震により、7ヶ寺のうち1ヶ寺は全壊し、残り6ヶ寺も半壊の被害を受け、この霊場巡りは一時中断となりました。そこで、七尾市の海門寺に嫁いだ副住職夫人（群馬県富岡市出身）とのご縁から、御朱印台紙の代理頒布に取り組みました。協力寺院は群馬県富岡市や安中市・甘楽郡をはじめ、群馬県の他の地域、さらには長野県・埼玉県にまで参加寺院が広がりました。

色紙に寺院ごとにまつられている七福神の尊名と寺院名が書かれた台紙となり、募金を含め1枚700円以上の志納金で約630枚頒布し、80万円以上の志納金を復興支援のために現地におくることができました。

現在、発災以後休止していた御朱印受付を順次再開しているということです。

ただ、全壊状態の長齢寺様は大黒天様を海門寺様へ、倒壊の恐れのある東嶺寺様の恵比寿天様は青林寺様へそれぞれ遷座し、10月途中から遷座先で御朱印に対応するとのことでした。

色紙台紙をお持ちの方は5つのお寺を巡って7つの御朱印を押していただけるようになります。新たに色紙がほしいという方にはサイズの大きい金色紙（直書き）を準備中とのことでした。

ただ、まだまだ仮復旧中の活動です。各寺復旧復興作業等で不在のことも多いため、もしお出かけいただけるならば、事前にご連絡をお願いしますとのことでした。

～海門寺副住職様からのメッセージ～



海門寺副住職様 とそのご家族様

能登七福神霊場御朱印台紙の代理頒布にご協力くださいました御寺院様、檀信徒様、そしてお求めくださいましたすべての皆様に心より御礼申し上げます。

当地を襲った地震により、当たり前のことが当たり前でなくなり、大切なものをあまりにも多く失いました。

先が見えず、失意のどん底の日々を送る私どもにとりまして、皆様方よりいただいたご支援は何より尊い心の支えになりました。

本当にたくさんのご縁に恵まれ、今日も生かされています。

今、ようやく倒壊家屋の解体が進み、復興への一歩を踏み出したところです。少しずつではありますが、能登に足を運んでくださる方も増えてまいりました。

多くの出会いが私どもの励み、明日への希望となります。

ご参詣の皆様を温かくお迎えできるよう、霊場会一同、全力を尽くしてまいります。



能登七福神霊場巡り 色紙

能登半島地震支援活動②

能登半島地震では、多くの寺院が被災しました。その中で、安中市 桂昌寺様と縁のある珠洲市内の千光寺様も本堂・住居等が全壊されました。この支援活動は、千光寺様での瓦礫運びや他の被災寺院でのボランティア活動です。

1月1日の発災から半年経って我々の活動が始まりましたが、奥能登地域では倒壊建物の一部しか解体が進んでいませんでした。12教区の安中市、13教区の富岡市・甘楽郡を中心に群馬県内曹洞宗寺院や福井・滋賀など県外からの参加者もあり、6月、7月、9月と現地に赴き活動してきました。

珠洲市正院町の千光寺様では倒壊した位牌堂・開山堂から仏像、位牌の救出や瓦礫を種類ごとに分別してダンプや軽トラックに積み、集積場所に運ぶという作業、同市宝立町の金峰寺様では倒壊本堂から大般若経の救出、能登町萬福寺様では塀垣の解体と仮フェンス設置、回廊の解体等、作業が山積みでしたが、何とかお手伝いが出来たかと思えます。手作業では難しい場所や公費解体対象外の部分を群馬から重機を搬入して取り組みました。重機が運転できる僧侶がいることは頼もしい限りです。



被災前後の山門・塀垣



全壊した本堂正面・裏



<法具 ～如意・笏～>

「千光寺位牌堂の折れたケヤキの丸柱」を、13教区の永隣寺住職 堀口元澄 老師が加工して如意（によい）と笏（こつ）という法具を制作し、千光寺住職 細川哲心 老師にサプライズで贈呈しました。

歴代住職はじめ、檀信徒の様々な思いが詰まった建物が壊され、処分されるのはあまりにも悲しいことです。後世まで使えるものとして残せばという思いから作られました。



救出した仏像や位牌のクリーニング・整理作業の様子。こうした皆さんの仏像や位牌を見ていると、この地域に昔から住む人たちの信仰心の深さを感じました。



建物のほとんどが倒壊し、雨風をしのご保管場所が少ないため、第13教区陽雲寺様より寄贈の物置を組み立て、設置してきました。

昨年は豪雨災害にも見舞われて、輪島市・珠洲市・能登町を中心にまた大きな災害が発生してしまいました。

千光寺様では公費解体が始まる前に、伽藍への報恩感謝と工事の安全を祈願するため、参加できる檀家様を集めて9月23日に法要を行うことが決まっていました。

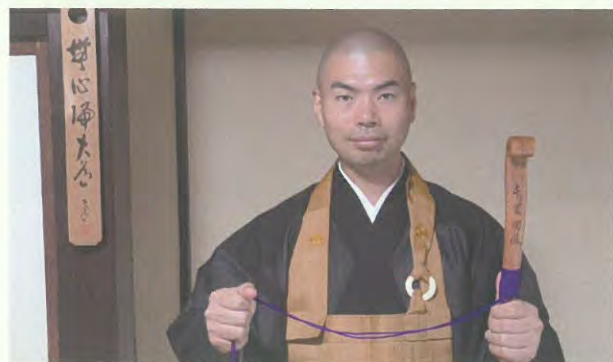
この豪雨災害で心配されましたが、何とか道路も進むことができるということから法要が営まれました。群馬からも予定どおり2名が随喜し、豪雨災害被災者のために水・カップ麺・簡易トイレなどを届けてくれました。

大変な困難があると思いますが、群馬からいつでも皆さんのことを想っています。



法要後、千光寺本堂前にて

～ 千光寺住職様からのメッセージ ～



千光寺住職 細川哲心 老師

令和6年の能登半島地震に際しまして、群馬県の皆様には計り知れないご支援を賜り御礼を申し上げます。

自坊は10月より公費解体となり今は更地となりましたが、それまでに仏様やお位牌をすこしでも救出したいがどうしたらよいか・・途方に暮れていた所に労苦を厭わず手をさしのべてくださり、一緒になって考えてくださったことが嬉しく感謝しきれません。

水害もあり、すっかり自然の猛威に弱い地域となりましたが、お寺の柱で作って下さった如意、笏に刻まれた千里同風という言葉を見れば、今では心温まる絆に感じます。能登での生活が安定するのはまだまだ先になりそうですが、繋がりを大事にして一日一日を大切に生きられるように励みにしたいと思います。

能登半島地震支援の様子

珠洲市宝立町 金峰寺様



本堂が倒壊し、屋根が地面に落ちています。



「大般若経」救出の様子

能登町 萬福寺様



回廊の解体作業



仮フェンス設置

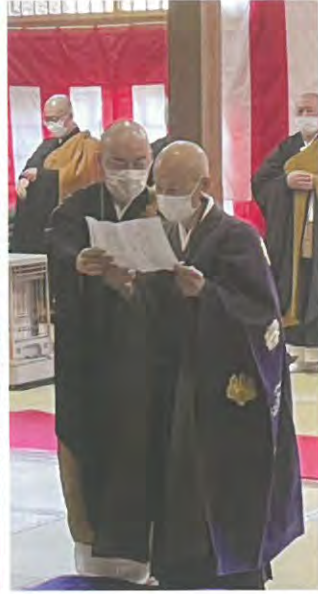
陽雲寺 退董式・晋山式・先住忌寺族忌

令和6年3月14・15日

富岡市妙義町 陽雲寺において、住職であった 設楽正流 老師の退董式（住職を退任される儀式）並びに、新しく 設楽正円 師が第三十八代目住職に就任される晋山式が厳修されました。その法要に合わせて、開山歴住忌・先住忌・寺族忌が行われ、西堂老師 兼 開山歴住忌先住忌寺族忌導師として、安中市 桂昌寺 様をお迎えし、盛大に執り行われました。



行列前、金鶏山をバックに記念撮影



東堂 設楽正流 老師と住職 設楽正円 師



長楽寺 退董式・晋山結制

令和6年10月19・20日

甘楽郡下仁田町 長楽寺において、40年間住職を務めた峯岸正典 老師がその位を退く「退董式（たいとうしき）」と、新しい住職として弟子の 峯岸典慶 師を向かい入れる「晋山式（しんさんしき）」がお勤めされました。同時に、仏様の教えを示して精進する「結制（けっせい）」の諸法要も修行されました。

当寺において33年ぶりとなる慶事にあたり稚児行列も花を添え、多くの皆様が慶びを分かち合いました。



住職 峯岸典慶 師と東堂 峯岸正典 老師



稚児行列の後、記念撮影

福寿院 東堂 遷化

令和6年8月5日通夜 8月6日葬儀



7月30日 富岡市岡本 福寿院東堂 設楽海行 老師（23世 前住職・世寿81歳）がご遷化されました。住職として寺門興隆に尽くしながら、富岡市議会議員としても市政に多大なるご貢献をされました。

通夜並びに葬儀は、通夜導師 長楽寺東堂 峯岸正典 老師、奠湯仏事師 永隣寺 堀口元澄 老師、奠茶仏事師 福巖寺 松浦彰一 老師、乗炬仏事師 御本寺宝積寺 西有孝裕 老師を拝請し、かぶら聖苑にて執り行われました。

福巖寺 寺族 逝去

令和6年1月23日通夜 1月24日葬儀



1月20日 甘楽町善慶寺 福巖寺寺族 松浦やゑ子 様（行年93歳）がご逝去されました。葬儀は福巖寺にて、御本寺宝積寺住職 西有孝裕 老師が乗炬師をお勤めになり、しめやかに執り行われました。寺族として福巖寺を支えながら農業にも従事され、地域の皆様とともに歩んでこられました。

海源寺 寺族 逝去

令和6年3月7日通夜 3月8日葬儀



3月3日 富岡市富岡 海源寺寺族 岩崎澁子 様（行年95歳）がご逝去されました。葬儀はかぶら聖苑にて、御本寺宝積寺住職 西有孝裕 老師を乗炬師に拝請し、しめやかに執り行われました。寺族として海源寺住職を3代に渡り支えてこられました。

永隣寺 寺族 逝去

令和6年10月21日通夜 10月22日葬儀



10月16日 富岡市下丹生 永隣寺寺族 堀口清子 様（世寿99歳）がご逝去されました。葬儀はかぶら聖苑にて、御本寺宝積寺住職 西有孝裕 老師が乗炬師をお勤めになり、しめやかに執り行われました。

生前は永隣寺前住職の妻として、長年にわたり寺門を支えられました。また、書家としても活動され、多くの作品を残し、多くの生徒に書道を教えられました。

長学寺 先住忌寺族忌

令和6年10月14日



長学寺31世哲巖是隣大和尚三十三回忌と内室五十回忌法要を御本寺宝積寺住職 西有孝裕 老師を拝請し、僧侶、親戚、世話人合わせて80名程が参加し、厳かに執り行われました。

ご法話では、長学寺の歴史や哲巖是隣大和尚、ご内室様のお人柄等がお話しされ、在りし日のお姿を偲びました。

葬儀作法講習会

令和6年3月5・6日



甘楽町 宝積寺において葬儀作法講習会が開催されました。新潟県 正壽寺住職 呉定明 老師を講師にお迎えし、二日間に渡り行われました。参加寺院は葬儀における作法、仏具の正しい使い方、作法の意味など、改めて多くの事を学び、知識を更に深めさせていただきました。

第13教区護持会 総会・研修会

令和6年4月25日

第13教区護持会の総会と研修会がホテルアミューズにて行われました。総会の後、引き続いて行われた研修会では、ヨーロッパの修道院に学ぶなど宗教間の対話に造形が深く、また令和5年まで曹洞宗ヨーロッパ国際布教総監をお務めされた長楽寺東堂 峯岸正典 老師に「ヨーロッパと日本のはざままで考える」と題してご講演をいただきました。

現職研修

令和6年7月2・3日

曹洞宗群馬県宗務所 令和6年度現職研修会が二日間にわたり開催されました。現職研修は曹洞宗僧侶の年齢55歳未満の者が出席する研修です。今年度は講師として、以前、微笑会にてご法話を賜りました石川光学老師の講義や長楽寺東堂の峯岸正典老師が「ヨーロッパの禅から日本を考える」という講義をご担当されました。

第11回 寺院に親しむ講座

令和6年12月4日



銘は「もみじ山寺」

甘楽町福厳寺において寺院に親しむ講座が開催されました。今回は「お茶を飲みながらお坊さん達と話そう」という内容で、茶道について裏千家 柳澤千代美先生、平柳弘美先生からご指導をうけ、お茶とお菓子をいただきました。その後、お坊さんにご参加いただいた方々で話をしながら懇親を深めました。

永隣寺 仏前結婚式

令和6年11月10日



富岡市下丹生 永隣寺において、大本山永平寺副貫首 沼田市迦葉山山主 羽仁素道 老師ご式師のもと、永隣寺副住職であり、神守寺・永昌寺住職 堀口智玄 師と新婦 美穂さんの仏前結婚式が行われ、親族・檀信徒・僧侶等が参列し、大勢の方々が二人の門出を祝いました。

仏具（笏コツ）の製作



昨年11月より珠洲市千光寺様の本堂の一部を活かそうと永隣寺住職 堀口元澄 老師指導による笏製作を行っています。瓦礫として撤去せずに仏具として生まれ変わります。後世まで我々が使うことでいつまでも忘れることのない一つの支援と考えています。指導の甲斐あって、参加寺院は素人ながらそれなりのものが仕上がっています。



寺族会 研修

令和6年11月29日



富岡市内匠「稀家」さんにて「和食マナー研修」を開催しました。基本的な和食の作法を身につけることで、日常の所作が美しくなり、作り手への感謝や共に食事をする人々を尊ぶことに繋がることを学びました。季節を大切に作る日本料理を五感で楽しみながら、充実した時間を過ごすことができました。

第18回 微笑会

令和6年6月15日



大本山 永平寺 副監院
栃木県足利市 明林寺住職 西田正法 老師

第18回 微笑会が甘楽町文化会館において開催されました。今回は大本山永平寺 副監院 栃木県足利市 明林寺住職 西田正法 老師より、「生死を離れ仏となる～貪から貧へ生き方の転換～」という演題で講演をいただきました。自身の体験談を交えてのお話は大変分かりやすく、涙を流して感動されている方も大勢いらっしゃいました。

毎年、ご好評をいただいております微笑会ですが、令和7年度は甘楽町文化会館の耐震化工事に伴い、開催を中止させていただくこととなりました。

耐震化工事終了後の令和8年度には改めて開催する予定となっておりますので、また皆様と法話を聞くひとときを楽しみたいと考えております。引き続きましてのご支援、ご協力を宜しくお願いいたします。



能登半島地震写真展も同時開催



微笑会の様子

特派布教巡回

令和6年10月4日



富岡市 海源寺にて、特派布教が行われました。

特派布教とは、本年度一年間の信仰の目標と実践をお説きする曹洞宗の本部布教のことで、本年は岩手県永昌寺住職 海野義範 老師をお迎えし、「坐禅で繋がる心と心」という演題で法話を賜りました。各寺院の多くの檀信徒にご参加をいただき、盛会裡に円成いたしました。

編集後記

委員長が交代してから、2号目の教区報となりました。今回は記事もページ数も多くなっております。特に、能登半島地震支援活動にページを割かせていただきました。

自然災害は、いつ、どこで、どのように・・・と誰もが予測できないままに起こります。その中で我々僧侶ができることは何かを考えながら、活動をさせていただきました。普段、お寺の和尚さんは何をしているのかということもわかるような紙面になったかと思えます。

今後も本教区および各寺院の活動にご理解、ご協力いただきますようお願いいたします。

ウクライナ難民支援活動や大般若経プロジェクトは下記13教区ホームページからご覧になれます



曹洞宗群馬県宗務所
第13教区ホームページ
<http://gunma13.main.jp/>